

# 2026年度情報関係科目履修案内

2025年度から情報関係科目のカリキュラムが変わり、2024年度以前に入学した方は従来のカリキュラム、2025年度以降に入学した方は新しいカリキュラムが適用されます。このため、カリキュラムにより履修できない科目、同じ授業を履修する場合でも入学年度により科目の名称が異なる、等がありますが、WEB履修登録システムでは履修できる科目・授業のみが表示されます。

## 履修できる学部

- 法学部
  - 商学部
  - 政治経済学部
  - 文学部
  - 農学部
  - 経営学部
  - 情報コミュニケーション学部
  - 国際日本学部
- (理工学部・総合数理学部生は、情報関係科目を履修できません)

## 履修登録方法（詳しくは情報関係科目シラバスp.18～24）

### WEB履修登録システムから履修登録を

WEB履修登録は＜明治大学教務システム＞で行います。

★履修申請期間等詳細は[情報関係科目シラバス](#)、[ホームページ](#)を参照★  
→[https://www.meiji.ac.jp/edu-info/about\\_ict.html](https://www.meiji.ac.jp/edu-info/about_ict.html)

手順1) Oh-o! Meijiにログインし、ポータルページに掲載の学内リンクから＜明治大学教務システム＞へアクセスします。

＜Oh-o! Meiji <https://www.oh-o.meiji.ac.jp/>>



手順2) 言語を選択してログインをクリックした後、認証方法として「Meiji ID認証」を選択し、次いで「履修登録」メニューを選択してください。



手順3) 登録画面が表示されるので、春学期、秋学期の両方について必要に応じて履修を希望する科目を選択、申請してください。

手順4) 最後に「登録実行」を忘れずにクリックしてください。



登録実行を押すことで登録が完了します

登録実行

# 情報関係科目の構成（カリキュラム）について

情報関係科目は各科目を階層に分けた構成になっています。

◆**2024年度以前入学者**を対象としている従来のカリキュラムは、エレメンタリー階層、基本階層、応用階層、総合発展階層の4階層に分類し、エレメンタリー階層の科目から総合発展階層の科目へステップアップしていく段階的構成としています。どの階層の科目からでも履修することができます。なお、「Ⅰ・Ⅱ」とある科目について、「Ⅱ」の履修は「Ⅰ」の単位修得が前提条件になっています。

◆**2025年度以降入学者以降**のカリキュラムは、高等学校までの学習内容を踏まえながら従来の

カリキュラムの科目を整理し、基本階層、応用階層の2階層としています。こちらも、どの階層のどの科目からでも履修できます。また各科目の履修について前提条件はありません。

◆自分のカリキュラムではない科目は履修できません。例えば2024年度入学者は、2025年度からのカリキュラムにあるICTWebページ作成は履修できません。同様に、2025年度入学者は、2024年度までのカリキュラムにあるICTエレメンタリーは履修できません。

◆各科目の概要、授業内容についてはシラバスで確認してください。

## 従来のカリキュラム

(2024年度以前の入学者は  
こちらの科目を履修する)

**ICT総合実践Ⅰ・Ⅱ 総合発展階層**  
(2024年度までのカリキュラムのみ)

ICTコンテンツデザインⅠ・Ⅱ

ICTアプリ開発Ⅰ・Ⅱ

ICTメディア編集Ⅰ・Ⅱ

ICTデータベースⅠ・Ⅱ

ICT統計解析Ⅰ・Ⅱ

応用階層

ICTベーシックⅠ・Ⅱ

基本階層

**ICTエレメンタリー エレメンタリー階層**  
(2024年度までのカリキュラムのみ)

## 2025年度からのカリキュラム

(2025年度以降の入学者は  
こちらの科目を履修する)

ICTeラーニングデザイン入門・応用

ICTプレゼンテーション

ICTWebページ作成

ICTプログラミング入門・応用

ICT画像編集入門・応用

ICT動画編集入門・応用

ICT音楽編集入門・応用

ICTデータベース入門・応用

ICT統計解析入門・応用

ICTベーシック

## 実力確認テスト

情報関係科目履修希望者向けに「実力確認テスト」を用意しています。

この「実力確認テスト」では、

☆履修するならどの情報関係科目が良いか？

☆大学入学時に必要とされる情報の知識・技術をどの程度有しているか？

などを自己診断することができますので、履修の際の参考にしてください。

なお、このテストを利用しなくても情報関係科目の履修登録は可能です。

(公開期間・・・2026.4.1から5.31まで)

■実力確認テスト <https://forms.office.com/r/V8W8FLnCre>

# 科目紹介

2024年度以前入学者	2025年度以降入学者	科目の概要
ICT総合実践Ⅰ・Ⅱ	(「ICT総合実践Ⅰ・Ⅱ」は履修できない)	各科目を横断的に扱い、最終的には実社会でも役立つプレゼンテーションができるトータルなスキルを習得します。
ICTコンテンツデザインⅠ・Ⅱ	ICT eラーニングデザイン入門・応用	e-learningコンテンツの制作体験を通して、インストラクショナル・デザインを学ぶとともに様々な分野で応用できるデザイン力を習得します。制作演習を経て、制作発表会の開催と報告書の提出ができるようにします。
ICTアプリ開発Ⅰ・Ⅱ	ICTプログラミング入門・応用	ICTの基盤となるシステム構築を扱う科目です。プログラミングの基礎からスタートし、オリジナルのアプリケーションを制作します。普段利用しているアプリを自ら製作する体験をします。
ICTメディア編集Ⅰ・Ⅱ	ICT画像編集入門・応用	プレゼンテーションの前段階として必須である素材画像や素材動画、音声・音楽などの編集スキルを、素材となる動画撮影、制作作品などの実習を行いながら習得します。また、コンテンツに関する著作権についても触れます (2025年度からのカリキュラムでは科目が細分化されました。2025年度以降の入学者は、科目名が異なるものならそれぞれ履修できます。2024年度以前の入学者は「ICTメディア編集Ⅰ・Ⅱ」を履修します。複数の「ICTメディア編集Ⅰ」を履修することはできません。内容をよく確認の上、履修する授業を選んで、申請してください。(「ICTメディア編集Ⅱ」も同様です)
	ICT動画編集入門・応用	
	ICT音楽編集入門・応用	
ICTデータベースⅠ・Ⅱ	ICTデータベース入門・応用	データベースを中心とした情報処理の知識や技術を習得します。情報収集の手法、電子化テキストの活用、リレーショナル・データベース、データベース管理やデータベース作成などの実践的スキルを習得します。
ICT統計解析Ⅰ・Ⅱ	ICT統計解析入門・応用	統計的データ分析を行うために必要な統計解析の基礎的な知識・手法を学習します。表計算ソフトや統計処理ソフトを活用し、実践的な演習を豊富に行いながら、データ分析および統計解析の基礎的な知識・手法を習得します。
(「ICTプレゼンテーション」は履修できない)	ICTプレゼンテーション	プレゼンを実施するまでの企画構成から、実際のプレゼンテーション力等を養成する授業です。自分の考えをプレゼン資料にまとめて、発表するのみに留まらず他者のプレゼンに対してピアレビューを行います。
(「ICTWebページ作成」は履修できない)	ICTWebページ作成	Webページの作成を目標に、Webページ作成に必要なスキルを学習します。また、Webページの作成のみではなく、知的財産権等の関わる知識を学習します。
ICTベーシックⅠ・Ⅱ	(「ICTベーシックⅠ・Ⅱ」は履修できない)	ICTに関する基礎的な知識やPCの基本操作、情報倫理などの大学生として最低限必要な情報の学習を総合的に行います。 2024年度以前の入学者は「ICTベーシックⅠ・Ⅱ」を、 2025年度以降の入学者は「ICTベーシック」を履修します。
(「ICTベーシック」は履修できない)	ICTベーシック	
ICTエレメンタリー	(「ICTエレメンタリー」は履修できない)	高校の教科「情報」(2025年度以降入学者が高校で学んだ「情報Ⅰ」ではありません。それ以前の科目です)で十分な成果を上げられなかった学生を対象に、現代の情報社会で最低限の活動を円滑に行うために必要な知識とスキルを習得します。

★時間割は、HP掲載のシラバスにて確認をしてください。

注意1) 入学年度(カリキュラム)により時間割が異なりますので、注意してください。

注意2) 授業形態は、対面授業科目とメディア授業科目、その混合があるため、注意してください。

# 履修申請に関する注意（情報関係科目シラバスp.14～17抜粋他）

※情報関係科目は抽選科目です。履修申請期間の各回ともに受付終了後に履修登録される（「当選」となる）とWeb履修申請画面では「鍵」が付きます。この状態のときは変更・削除ができません。申請にあたっては**事前に学部の時間割などをよく確認し、履修する他の科目とは曜日・時限が重ならないよう、十分注意の上、履修を申請してください。**

なお、**今年度、履修修正期間で削除のみを受け付けることになりました。**やむを得ず削除が必要な場合には、その期間で削除をしてください。なお、抽選科目に当選したことを十分に考慮したうえで、必要な場合のみ、削除するようにしてください。

※時間割表はカリキュラム（入学年度）によりシラバス掲載のページが異なります。こちらについても十分注意してください。

## 2024年度以前入学者向けの注意事項

- ・各科目でⅠとⅡを両方履修する場合は、Ⅰの授業内容を前提にⅡの授業内容を組んでいるため、ⅠとⅡを同じ教員で履修することが望ましいです。
- ・「ICTエレメンタリー」以外の情報関係科目は、Ⅰの単位を修得しないとⅡの履修はできません（「Ⅰ」は「Ⅱ」の前提科目）。春学期のⅠと秋学期のⅡを同時に履修申請することは可能ですが、Ⅰの単位を修得できなかった場合は、Ⅱの履修登録は自動的に削除されます。その場合、Ⅱは翌年度以降に履修申請をすると「新規」履修の扱いとなります。なお、Ⅰの単位を修得できなかった場合には、Ⅱの履修登録は自動的に削除されます。
- ・各科目ともⅠだけの履修も可能です。
- ・原則として、自分の在籍するキャンパス以外に設置されている情報関係科目は履修できません。ただし以下を除きます。
  - ※国際日本学部生は、駿河台キャンパス開講の「ICTベーシックⅠ」以外の科目を履修することができます。また、農学部生は、駿河台キャンパス開講の科目を履修することができます。なお、和泉キャンパスの1・2年生は駿河台キャンパス開講科目のうち「ICTベーシックⅠ・Ⅱ」は履修可能です。
  - ※「メディア授業科目」は、全キャンパスの学生が受講可能です。
- ・履修申請者が定員を超えた科目は抽選を行います。
  - ※「ⅠとⅡを同時に申し込んだ」時に抽選の結果、「Ⅰ」は落選、「Ⅱ」は当選となった場合、履修登録上のエラーとなるため、「Ⅱ」についても落選となります。
- ・ⅠとⅡを同じ学期に履修することはできません。

## 2025年度以降入学者向けの注意事項

- ・各科目で入門と応用を両方履修する場合は、入門の授業内容を前提に応用の授業内容を組んでいるため、入門と応用を同じ教員で履修することが望ましいです。
- ・各科目とも「入門だけ」または「応用だけ」の履修も可能です。ただし、「応用」科目は、「入門」相当の知識を前提に授業が進行されます。**応用のみの履修を希望する場合は、申請前にシラバスで前提となる知識、スキルを必ず確認し、自身のレベルに併せた履修をしてください。**
- ・原則として、自分の在籍するキャンパス以外に設置されている情報関係科目は履修できません。ただし以下を除きます。
  - ※国際日本学部生及び農学部生は和泉または駿河台キャンパス開講の「ICTベーシック」以外の科目を履修することができます。
  - ※「メディア授業科目」は、全キャンパスの学生が受講可能です。
- ・履修申請者が定員を超えた科目は抽選を行います。
  - ※各回の募集において、「同一教員で春学期にICT〇〇入門、秋学期にICT〇〇応用を申し込んだ」ときは「入門」と「応用」について、「両方当選」または「両方落選」をなるべく抽選します。（〇〇は同じ）
- ・原則、半期で「入門」「応用」を同時に履修することは推奨しません。

## 問い合わせ先

- 駿河台キャンパス 12号館7階メディア支援事務室
- 和泉キャンパス メディア棟1階 和泉メディア支援事務室
- 生田キャンパス 中央校舎5階 生田メディア支援事務室
- 中野キャンパス 低層棟3階 中野キャンパス事務室